

基本方針 4 効率的なエネルギーの使用(低炭素社会の構築)

基本施策 1 エネルギー対策

1 現状と課題

地球上では「地球温暖化」、「オゾン層の破壊」、「酸性雨」、「熱帯林の減少」等の環境問題が発生しており、特に「地球温暖化」は深刻な問題となっています。

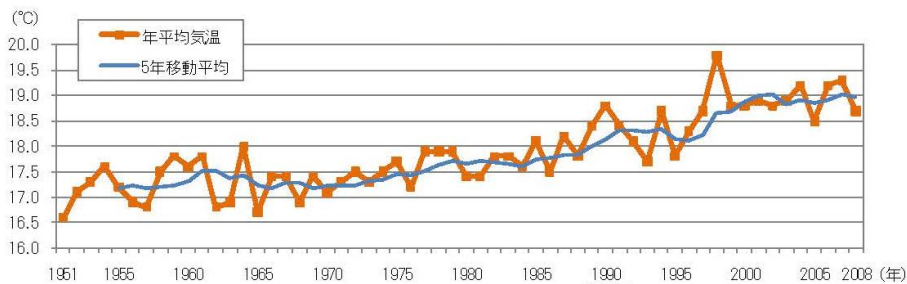
日本では、京都議定書の第一次約束期間(平成 20(2008)年～平成 24(2012)年)において、温室効果ガスの総排出量を平成 2 (1990) 年レベルから 6%削減することが目標として定められていました。

また、現在、新たな国際的枠組みによる削減目標を定める取組が進められています。

私たちは普段、電気やガソリンなどを何げなく使用していますが、その基となる石油やガスなどの化石燃料の量は無限ではありません。日本は使用する 8 割以上の燃料を海外に頼っており、本市においても同様のことがいえます。

本市全体の電灯の年間使用量は、平成 22 年度から減少傾向にあります。市民一人当たりの電灯使用量はほぼ横這いで推移しており、電気使用を減らすことに対する市民の意識は高くはありません。

本市でも地球温暖化を防止するために、エネルギーを大切にする生活・社会活動を心掛け、省エネルギーによる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)等の温室効果ガスの削減に取り組むことが課題となっています。



資料 気象庁

図 3-9 鹿児島市の年平均気温の変化  
(鹿児島県地球温暖化対策実行計画から引用)



資料 鹿児島県公共用水域及び地下水の水質調査結果  
備考 鹿児島湾基準点 13 (0.5m層) の年度平均水温

図 3-10 海水温の経年変化  
(鹿児島県地球温暖化対策実行計画から引用)

## 2 施策の基本的方向

省エネルギー活動を推進し、垂水市の温室効果ガス排出量を削減します。

### ◆指標及び数値目標

指標	単位	平成 19 年度 (基準年度)	平成 32 年度 (中間年度)	平成 37 年度 (目標年度)
市(行政事務事業) 温室効果ガス排出量	t-CO <sub>2</sub>	4,171	基準年度から6%削減	市地球温暖化対策 実行計画に準拠
指標	単位	平成 26 年度 (現況年度)	平成 32 年度 (中間年度)	平成 37 年度 (目標年度)
一人当たりの年間 電灯使用量	MWh	2.4	2.2	2.0

備考 平成 32 年度の目標数値は、垂水市地球温暖化対策実行計画（平成 19 年 7 月）から引用。

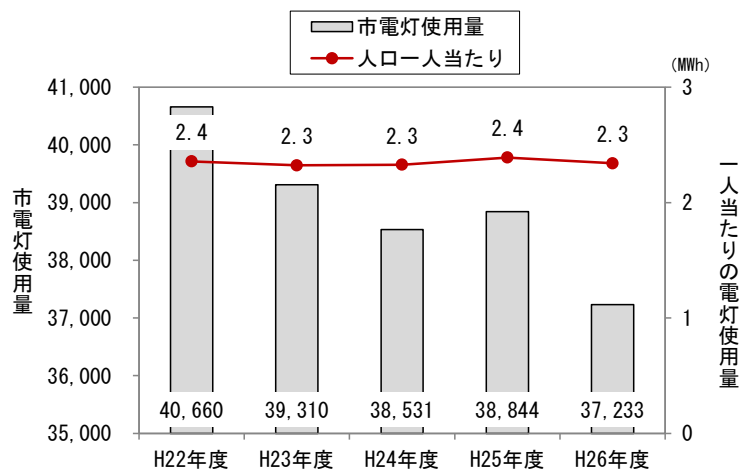


図 3-1-1 市年間使用量と 1 人当たりの電灯使用量の推移

## 3 主体別の取組

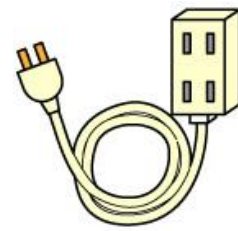
### (1) 市の取組

- クールビズやウォームビズに取り組めます。
- 市の施設では、昼休み時に不要な照明は消灯します。
- 市の施設では、電気器具を使用した後や退庁時（退館時）は、コンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくします。
- 市の施設では、空調設備の適正運転により、事務室等の適温化（夏期 28℃、冬期 20℃）を徹底します。
- 家庭や事業所で実践できる省エネルギー対策とその効果を市のホームページや広報誌を通して発信します。
- OA 機器等を購入する際は、省エネルギー製品に切り替えます。

### (2) 市民の取組

- 公共交通機関や自転車などの利用に努めます。

- 家庭電化製品は、不使用時はコンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくします。
- 家庭電化製品を購入する時は、省エネルギー性能の高い機器を選びます。
- 太陽熱温水器や太陽光発電など、自然エネルギーの導入を検討します。
- クールビズやウォームビズに取組み、冷暖房の設定温度の適温化を心掛けます。



### (3) 事業者の取組

- 共同輸送や長距離輸送でのフェリーの活用などにより、物流における環境負荷の軽減に努めます。
- 長時間使用しないパソコン・OA機器等の電源を切ります。
- OA機器等を購入する際は、省エネルギー製品に切り替えます。
- 更衣室・会議室・倉庫等の不要な照明は消灯します。
- クールビズやウォームビズに取組み、冷暖房の設定温度の適温化を心掛けます。
- ISO14001 やエコアクションなどの環境マネジメントシステムの取得を検討します。

～垂水市における省エネルギー推進の基本理念～  
**省エネルギーのまち垂水市**  
～小さなこと、できることから実践

～垂水市の省エネルギー目標～  
平成27年度値を平成16年度比で  
**エネルギー消費量を5%削減します。**  
**二酸化炭素排出量を6%削減します。**

「省エネルギービジョン」の冊子は市立図書館および公民館、市のホームページ上でもご覧いただけます。

An illustration of a diverse group of people, including children and adults, standing together in a green field. The group includes a young girl, a boy, an elderly woman, and a man.

## コラム 高峠太陽光発電所

平成27年10月27日、高峠つつじヶ丘公園で垂水市高峠太陽光発電所（メガソーラー）の起工式が開催されました。

今回、建設されるメガソーラー施設が、本市の再生可能エネルギーのシンボリックな存在となることが期待されます。

### 【垂水市高峠太陽光発電所の概要】

営業運転開始日	平成27年10月27日
設置場所	垂水市高峠（市有地、一部民有地）
敷地面積	125,500㎡
パネル設置面積	62,500㎡
設置パネル枚数	37,824枚を予定（約37,800枚）
最大出力	9.6MW（9,600KW）
年間発電量	954万KWh（年間約2,400戸相当）



垂水市高峠太陽光発電所

写真 垂水市

## 基本施策2 自動車対策

### 1 現状と課題

本市の道路網は、道路網の骨格を形成する国道220号を中心とし、隣接市を結ぶ県道や市民の生活を支える市道で構成されています。

市や県は、安全で円滑な都市活動を確保し、また、車両の滞留時間を短縮させて二酸化炭素の排出を抑制させることから、計画路線等の整備に努め、交通を円滑化させる必要があります。

さらに、自動車に依存した現在のライフスタイルを見直すことも重要です。公共交通機関の利便性を向上させて、自動車からの転換を促す必要があります。近距離の移動においては、低炭素のまちづくりを進めていくためにも、徒歩や自転車などの利用を促進させる道づくりが必要です。

今後も自動車の利用に当たっては環境への配慮が求められるため、低公害車の普及、エコドライブの推進などの取組が必要です。こうした取組に当たっては、行政自らがまず率先して取組み、市民や事業者等に促し、地球温暖化の抑止を推進することが課題となっています。

### 2 施策の基本的方向

市、市民、事業者が自動車による環境負荷の軽減を心掛け、本市の二酸化炭素排出量を削減します。

#### ◆指標及び数値目標

指標	単位	平成27年度 (現況年度)	平成32年度 (中間年度)	平成37年度 (目標年度)
市保有の環境配慮型自動車数	台	1	3	5

備考 1 環境配慮型自動車とは、ハイブリッド車、プラグイン・ハイブリッド車、電気自動車、水素自動車、燃料電池車のこと。

2 平成27年4月現在の垂水市保有の自動車の総数は84台で、環境配慮型自動車は1台(1%)である。

3 平成25年3月現在の鹿児島県の全自動車に対する環境配慮型自動車の割合は6%である。

### 3 主体別の取組

#### (1) 市の取組

- 公用車にハイブリッド自動車や電気自動車などの環境配慮型自動車を率先して導入し、市民・事業者への普及啓発を図ります。
- 関係団体と連携し、市民・事業者のエコドライブ技術の講習会を支援します。
- ノーマイカーデーを導入するなどして、自動車利用を控える取組を検討します。
- 徒歩や自転車が利用しやすい道路環境整備を検討します。
- アイドリングストップ運動を展開します。

## (2) 市民の取組

- 不要不急の自動車利用の自粛や公共交通の利用を心掛け、自動車による環境への負荷を軽減します。
- アイドリングストップ運動に参加・協力し、エコドライブを心掛けます。
- エコドライブ講習会等に積極的に参加し、技術を習得します。
- 自動車購入時は、環境配慮型自動車への買い替えを検討します。
- 近距離の移動の際は、徒歩や自転車の利用に努めます。

## (3) 事業者の取組

- アイドリングストップ運動に参加・協力し、エコドライブを心掛けます。
- 事業場でエコドライブ講習会等を実施し、従業員に技術の習得を促します。
- 社用車購入時は、環境配慮型自動車への買替えを検討します。
- ノーマイカーデーを導入するなどして、自動車利用を控える取組を検討します。
- 従業員が道路での駐停車をしないよう喚起します。
- 従業員に自転車通勤を奨励し、自転車利用を促進します。
- 交通事業者は、安全で快適な運行サービスの提供に努めます。

## 本市の環境配慮型自動車

車 名：プリウス

走行機能：ハイブリッドシステム（エンジン&モーター）

燃 費：30.4（JC08モード）



市所有ハイブリッド車

写真 垂水市